

入山炭礦爆發の

原因探究は困難

モーターからの火が疑問

總べては想像説

入山炭礦第五坑南卸し坑内の爆發遺難事件の原因に關しては作業員の殆んど全部が遭難死亡したので確かに知る由もなく多分爆點火の際坑内に充満して居た瓦斯に引火した爲めではないかと傳へられて居る事は昨報の如くであるがまた一説に依れば掘進現場には水が多く從來は瓦斯發生の恐れがなかつたとの事で今回の

入山炭礦に

御救恤金

五百圓下賜

入山炭礦の爆發事件天恩に達し 天皇 皇后兩陛下より御救恤金五百圓を遺族並に傷者に下賜され吉本礦業所長は天恩の有難さに感泣した

椿事は南卸坑の最先端に炭酸瓦斯が發生し夫れにモーターから火を呼び爆發を惹起したものでなからうかとの観測もあるが是れとても未だ判明しない

遭難者社葬

明日三日執行

昨報爆發遭難者の社葬は明日十三日午前九時から坑務所わき空地を齋場として地元の湯本町惣善寺森住職を始めて平町其他各宗寺院僧侶共

數名に依り同社重役以下係員全部及び遺族其他多數參列執行の筈

死線を突破し

残存者三名

入山炭礦の爆發慘死者男女七十五名の屍体は是れを町に洗滌し同炭礦第四坑奥青葉虛空藏下の同礦火葬場及び内郷村堀坂なる湯本火葬場にて夫々茶毘に附されたが其後に調査の結果死線を突破した残存者は昨報村中一男外下山田新、小松秀吉の二名と判明した

香華を手向け

涙ながらの

遺族は語る

犠牲者の一人坑内役員技手齋藤利三郎の夫人とし子は長女京子(三)長男將(二)の遺児と共に香華を手向けて枕頭に待し涙ながらに語る夫は秋田礦山専門學校を卒業して當炭礦の厄介となり皆様の御引立てで月俸もトク、拍子に上がり只今は七十五圓を戴いてゐました昨年一月志願兵で入營致しまして歸宅後一箇月ばかり前に陸軍少尉に任官致し正服を貰ひましたので夫は軍服をつけるのを喜んでおりましたがそれも出来なくなりました

好問琵琶會

石城郡好問村町田好樂館にて廿四日午後七時から愛吟會薩摩琵琶會を開く由で平町から平手錦鞭及び金成錦星氏出演する由

アツト叫んで

仰向け様に

感電して死亡

石城郡江名町大字江名字中之作吉田藤吉方雇人遠藤好英(三)は十一日午後七時半頃鯉節運搬中アツト叫びて仰向け様に倒れ後頭部を強

何喰はぬ顔して

軍隊に潜む老婆殺し

石城生れの小鍛冶三治

第二師團の軍法會議に

石城郡生れ當時住所不定小鍛冶三治(三)は大正十二年十一月六日夜茨城縣多賀郡日立日立鐵山附近居酒屋の老婆某(六)が小金を蓄めてゐるのを知つて同家に押入り便所傍に於て老婆を絞殺し 百圓餘りを強奪した上巧みに逃亡行方を晦して居たがその後同人は各地に潜伏悪事を働き本

カテイラン

茶がら

の蚊いぶし

夏の夕方の涼みを心ゆくまでに味はふのに、どうも蚊がじやまになつて仕方がありません、そんなとき、蚊とり線香のかほりにお茶をいぶすのです、に出したも

か路上に打付け死亡したが高壓線から漏電して居た傍らを通行した爲め感電したのである

三歳の幼女が

汽車に轢かる

線路で遊び

石城郡内郷村大村宮字金澤雜夫辰吉の長女志鎌サツキ(三)は十日午後四時五十分母が炊事の暇に遊びに出で線路上に差懸つた際好問炭礦の専用貨車進捗し來つて轢き殺した

不平受付

投書歡迎

無改缺の切符 四日入の濱平間の往復切符にて平驛下車の際過つて無改缺の方を渡し改缺せし方を持歸つた爲め七日此由を係員に話せし處切符は當日中に整理して本省に送る故交換は出來ぬとの事でしたが此場合過失は双方にあるのですから切符の有効期間中は當該係員に保存の義務はないものでせうか(歸省學生)

取消文

本紙八月七日常磐片々欄に於ける吉田禮次郎氏に對する記事は同氏の名譽を傷けたるものと認められ甚だ遺憾に堪はず依て同氏の名譽の爲めに全文を取消す(川崎社長)

是非一度はおためしになつて

御覽なさい、全く下手なかと線香等に比べると確かに効果が有り香りも至極上品です

常磐片々

今年の盆踊りは天下御免

平の盆踊はシャナリクナリなものにあらずして勇壯活潑を極む

平人士は此盆踊りにはよくまれて一種の氣質を造つた『ヤロヤツタナ』と手を振り足を回す時鬼神もひしげ概を示して痛快至極

平人士は此意氣を以つて當り總べてを征服せすんば止まざるものあり

成るべく充分に

弔慰金を贈る方針

入山炭礦誠意を示す

遺族の状態を參酌し

遭難者の各戸に對しては事變の飛電により本社より急行したる廣瀬専務が十日吉田事務部長小柳警務係長を隨へ夫々歴訪の上可重に弔意を表したる上目下相當金品を供給して各戸の

生活を

安固ならしめて居るが死者に對する弔慰金に就ては十一日午前中より吉本所長の社宅内に幹部會を開き協議中で各自の勤績年數及遺族の状態等を

し規定以外多額の金を贈り

若人よ踊れ

粹な取締方針

地方青年子女が唯一の樂しみとして居る盆踊が眼先に近づいて來たが最近はその氣味になつて來たのが遺憾である郡山本縣保安課長は「國民性を發揮した昔ながら盆踊が年々すたれて行くことは惜しい事である今

ヒロイモノ

△平町宇田町伊藤時習氏は十日同町道路にて金剛時計と婦人用二ツ折財布△研町佐藤利作氏は九日三丁目にて懷中時計△新川町川崎カチは八日南町にて五圓紙幣△二丁目堀滿正氏は一日二丁目にて十圓紙幣を夫々拾得此程平署に届出た